

特に、働き盛りの50歳以上の男性に多い、大腸がん、胃がん、食道がんなどの消化管がん。治療には、がんの患部を切除する手術療法、抗がん剤などを用いてがんの増殖を抑え、転移や再発を防止する薬物療法、放射線を照射してがん細胞を攻撃する放射線療法などがあり、症状に適した治療が行われます。

近年、手術支援ロボット・ダヴィンチを用いた、より低侵襲な手術が行われるようになり大変注目されています。1990年代にアメリカで開発され、2009年に日本でも薬事承認を受けて以降、様々な疾患に適用されてきました。

ロボット支援下手術では、執刀医が操縦席に座り、鉗子がついた3本のアームと高画質の3次元カメラが接続された1本のアーム、計4本のアームを遠隔操作します。ハイビジョンカメラで撮影された患部を、立体感のある3次元画像で、最大15倍という高解像度かつ拡大視野で捉えることができ、肉眼では見えない微小血管や神経など細部まで確認しながら手術することが可能です。また、アームの先端は

### 進化する医療技術 高精度な消化管がんの手術

# 最先端の 消化器外科手術

早期回復を目指す！低侵襲なロボット支援下手術

企画・制作 IKA7ド TEL.03-5652-3327

関節のように曲げられるため可動域が広く、より緻密な手術が可能のため、5〜12mm最大6カ所の切開で済み、出血量が極めて少ないことが大きな特長の一つです。

**早期社会復帰も可能な  
ロボット支援下手術**

現在、日本国内でも医療用ロボットの開発が進んでおり、ロボット支援下手術における更なる普及が期待される中、2020年に国産初の手術支援ロボットhinotoriが登場し、大きな話題となりました。また、2012年前立腺がんへの保険適用を皮切りに、適用分野が拡大しており、消化器外科においても食道がん、胃がん、大腸がんも対象になるなど、手術を受けやすい環境が整備されています。

ロボット支援下手術は、高精度な医療機器の完備と医師の高度な技術力を要するため、全国でも限られた一部の医療機関でのみ行われています。傷口が小さく疼痛も少ないなど、身体への負担が少ないのが大きな利点で、これまで手術が難しかった症例でも治療できる可能性があるため、気になる方は専門の医療機関へ相談すると良いでしょう。

## 当院医師が紹介されました。



サンデー毎日  
2025年2月9日号

## 消化器外科手術

実施医療機関ガイド

当院は、急性期医療を担う総合病院として、東京都の区部北西部および周辺地域の皆さまの健康を守り続け、高度な医療の提供に力をいれています。

腹腔鏡手術、ロボット支援手術の経験豊富な指導的立場の専門医が、疾患の進行度、患者さまの全身状態を考慮し、積極的に腹腔鏡下・ロボット手術を行っています。特に食道癌・胃癌、大腸癌、膵癌に対してロボット・腹腔鏡手術を積極的に施行しており、およそ8割の手術が低侵襲手術となっております。

手術支援ロボットとは、3D画像で患部を映し、術者がコンソールと呼ばれる操作台から4本のロボットアームを遠隔操作して人間



外科科長  
**帖地 健**  
日本外科学会認定外科専門医  
日本消化器外科学会認定  
消化器外科専門医



消化器外科部長  
**李 俊容**  
日本外科学会認定外科専門医  
日本消化器外科学会認定  
消化器外科専門医

手術支援ロボットによる低侵襲手術  
傷口が小さく早期社会復帰を実現

の手では困難な屈曲や回転、ぶれない安定した動きにより精度の高い手術が可能となります。また傷口が小さいため低侵襲性、整容性にも優れており早期社会復帰も可能です。

練馬区光が丘地域は高齢化率が30%以上と日本の平均を大きく上回っており、ご高齢の方への低侵襲手術経験も豊富です。今後も信頼される医療を提供するために、丁寧でやさしい医療を心がけ「ONE TEAM」で診療体制の強化に取り組みで参ります。どうぞお気軽にご相談ください。

公益社団法人  
地域医療振興協会

**練馬が丘病院**

東京都 練馬区光ヶ丘2-5-1  
☎03-3979-3611  
【受付時間】 8:00~11:30  
13:00~16:00  
※土は11:30まで  
【休診日】 土午後、日、祝、年末年始